



(公社)神奈川労務安全衛生協会
小田原支部
小田原市本町2-3-24
TEL 0465-24-1753
発行責任者 支部長 小池清彦
編集 広報部会



賀正
祝200号

真鶴町

飯田 晃久氏 撮影

令和7年 年間安全衛生標語
安全は働くみんなで作るもの
働くみんなで守るもの

🌸 新年を迎えて 🌸

(公社)神奈川労務安全衛生協会小田原支部長

小池 清彦

新年あけましておめでとうございます。

令和7年の新春を迎え(公社)神奈川労務安全衛生協会小田原支部の会員事業場の皆様に謹んで新年のお慶びを申し上げますとともに、日頃から小田原支部の運営に対し、小田原労働基準監督署並びに会員事業場の皆様に多大なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。



さて、以前から「2025年問題」が取り沙汰されてきましたが、今年はまさにその年になります。今年約800万人いる全ての「団塊の世代」が後期高齢者(75歳以上)となることで、国民の5人に1人が後期高齢者という超高齢化社会を迎えます。これにより人口と労働力の減少、医師の不足、社会保障費の増大など、様々な問題が現実的になり、これを補うため、私たちの生活や仕事においては自動運転技術や人工知能がより身近になっていくことが予想されます。また、労働安全衛生分野ではエイジフレンドリーや転倒災害防止の重要性が更に増すのではないのでしょうか。

ご承知の通り、2023年度から2027年度までの5カ年を対象とした「第14次労働災害防止計画」が現在推進されており、会員事業場におかれましては、それぞれ具体的な取り組みが実行されているものと認識しております。

小田原地区では、「第14次労働災害防止推進計画(小田原計画)」が定められ、休業4日以上死傷災害について「2027年度359人以下」の目標が掲げられておりますが、これまでのところ災害発生数は増加傾向に歯止めがかからない状況です。特に高齢労働者による転倒や腰痛等の行動災害の増加が顕著で、今後さらに高齢化が進むことによる増加が懸念されています。

小田原支部では本年もこれら高齢化対応に向けたセミナーや講演を企画し目標達成に向けた活動を展開します。会員事業場の皆様のご理解とご協力をどうぞ宜しくお願いいたします。

最後に、会員事業場皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げ令和7年新年のご挨拶と致します。本年も宜しくお願い申し上げます。

最後に、会員事業場皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げ令和7年新年のご挨拶と致します。本年も宜しくお願い申し上げます。

小田原労働基準監督署長

本間 公紀



令和7年の新春を迎え、公益社団法人神奈川労務安全衛生協会小田原支部及び会員事業場の皆様に謹んで新年のお慶びを申し上げますとともに、日頃から小田原労働基準監督署の行政運営の推進に多大なる御理解と御協力を賜り、改めて厚く御礼申し上げます。

さて、昨年の小田原労働基準監督署管内の労働災害発生状況は、残念ながら死亡災害が3件発生してしまい、休業4日以上労働災害も大幅に増加しました。近年は就業人口が高齢化し、高齢労働者の労働災害や転倒や腰痛などの労働者の作業行動に起因する死傷災害が増加し続けております。このような状況の下、労働災害を減少させ労働者が安全で安心して働くことができる職場環境を築くためには、令和5年度からスタートした第14次労働災害防止計画に基づき、労使双方が労働災害防止のための基本ルールを徹底し、労使一丸となった取り組みが求められるところです。また、近年の大幅な気候変動により、夏の猛暑による熱中症の増加や大雨・暴風による自然災害も発生しているため、気候変動に係る危機管理も一層重要となっております。

労働時間に関しましては、昨年4月から自動車運転者、建設業及び医師に対して時間外労働の上限規制が適用されていますので、引き続き荷主、発注者及び患者の立場としてのご理解、ご協力をいたくださいよう働きかけてまいります。

賃金に関しましては、政府は構造的な賃上げの実現を目指しており、最低賃金を2020年代に全国平均1,500円にするという高い目標を掲げて昨年大幅に引き上げられたところです。このような状況を踏まえて賃金の引上げに向けたお願いと各種助成金の案内に努めてまいりたいと考えております。

最後になりますが、公益社団法人神奈川労務安全衛生協会小田原支部及び会員事業場の皆様の一層の御活躍・御繁栄をご祈念申し上げまして、新年の御挨拶とさせていただきます。



令和7年 謹賀新年

本年もご安全に!よろしくお願ひ致します。 小田原支部役員事業場一同

支部長 三菱ケミカルハイテクニカ(株)	副支部長 わかもと製薬(株)相模大井工場
監査 富士屋ホテル(株)	監査 文化堂印刷(株)

安全部会

部会長 富士フィルム(株)神奈川事業場 (株)明治ゴム化成 南開工業(株) 花王(株)小田原事業場 豊玉香料(株)小田原工場 (株)クボタケミックス小田原工場	副部会長 富士フィルムヘルスケアマニュファクチャリング(株)南足柄竹松事業所 日本製紙クレシア(株)開成工場 三菱ガス化学(株)山北工場 Meiji Seikaファルマテック(株) わかもと製薬(株)相模大井工場
---	---

衛生部会

部会長 紀伊産業(株)鴨宮工場 相日防災(株) 大東カカオ(株)中井工場 日本インジェクタ(株) 藤田観光(株)箱根小涌園	副部会長 ライオン(株)小田原工場 (株)アグサ 神奈川柑橘果工(株) (株)鈴廣蒲鉾本店
--	---

労務部会

部会長 (株)しいの食品 (株)西山製作所 テルモ(株) 富士フィルムビジネスイノベーション(株)竹松事業所	副部会長 パナック工業(株) (株)小田原百貨店 足柄乳業(株) 小田原紙器工業(株)
--	---

広報部会

部会長 第一三共ケミカルファーマ(株)小田原工場 (株)カネカメディックス神奈川事業所 (株)ミクニ小田原事業所 (株)小田急箱根	副部会長 (株)東海ビルメンテナス 三菱ケミカルハイテクニカ(株) 日本新薬(株)小田原総合製剤工場 小田原ガス(株)
---	---

産業保健活動研究会

運営リーダー 三菱ケミカルハイテクニカ(株)

支部だより200号の発行にあたり、小田原支部の歩みをまとめてみました。日本の産業安全の歴史と共に、地域の多くの皆様と関わり、支えられ「昭和、平成、令和」と歩んできたことが分かります。

支部だより200号を迎えて

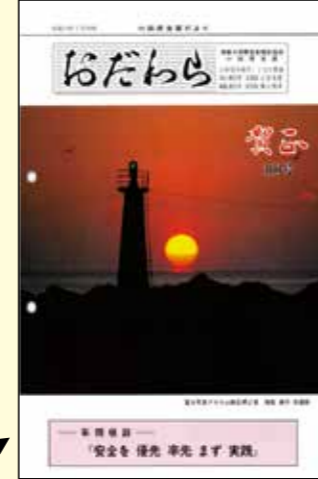
●神奈川労務安全衛生協会小田原支部の歩み●

年月	トピックス	会員数 (会社数)	
創成 昭和22年 1947	・神奈川県産業安全協会設立(6地区、146会員)		
・昭和23年 1948	・安全協会小田原支部としてスタート	20	
26年	昭和34年 1959	・(社)全国労働衛生協会(全衛協) 設立	
	昭和39年 1964	・中央労働災害防止協会 設立	
	・昭和41年 1966	・県産業安全協会/県労働衛生協会が統合 (社)神奈川県安全衛生協会発足	94
	昭和47年 1972	・労働安全衛生法 公布・施行	
昭和48年 1973	・中災防 ゼロ災害全員運動を提唱・拡大(理念の確立)		
・昭和49年 1974	・小田原支部だより第1号創刊 ・小田原支部事務局新設(本町2丁目・国際ビル) ・同年小田原支部事務局移転(小田原市浜町4丁目・湘南3F)	163	
26年	・昭和52年 1977	・小田原支部事務局移転(小田原市浜町1丁目・労務士事務所内)	195
	・昭和57年 1982	・小田原支部事務局移転(小田原市城内1丁目・商工会議所2F)	270
	・平成元年 1989	・(社)神奈川県労働安全衛生協会と(社)神奈川県労働管理協会が統合し、(社)神奈川県労働安全衛生協会が発足 (社)神奈川県労働安全衛生協会 小田原支部スタート	323
	・平成11年 1999	・神奈川県労働安全衛生協会 小田原支部が 小田原産業労働団体連合会事務局となる	359
・平成12年 2000	・小田原支部だより第100号発行	365	
25年	平成23年 2011	・社団法人から(公益社団法人)神奈川県労働安全衛生協会として再出発	
	・平成26年 2014	・小田原支部事務局移転(本町2丁目青色会館2F)	302
	令和5年 2023	・中災防 ゼロ災害全員運動 提唱から50年	
・令和7年 2025	・小田原支部だより第200号発行	294	

第1号表紙 (S49: 1974)



第100号表紙 (H12: 2000)



第200号表紙 (R7: 2025)



支部だより100号発行から200号までの25年間で
情報インフラは目覚ましい進歩を遂げ、支部運営業務も大きく変化してきました。
O A化時代を経てあらゆる業務ソフトが導入され、大量情報を管理するデータベースにより、業務の効率化、見える化が図られました。
さらにIT時代を迎え、世界レベルで情報がタイムリーに共有される時代になり、支部の講習スタイルも多様化する時代になりました。



オフセット印刷時代

写植機⇒製版⇒オフセット印刷
→→ 103号: H12 (2000)

DTP (Apple Macintosh) 編集&校正⇒製版⇒オフセット印刷
104号: H12 (2000) →→ 174号: H30 (2018)

オンデマンド印刷時代

DTP (Apple Mac) 編集&校正⇒オンデマンドプリンター印刷
175号: H12 (2000) →→ 現在200号: R7 (2025)

支部だより印刷技術の進化
写植+オフセット印刷から、DTP (Desktop Publishing) の進化により、PC上での編集作業が主流となり印刷データを直接プリンター印刷するオンデマンド印刷に進化した。
(情報提供: ユーシン印刷)

<小田原支部の歩みをまとめて>
令和7年(2025)は小田原支部がスタートして77年目となります。創設から100号までの52年間は支部会員の拡大が進みました。100号から200号までの25年間はデジタル社会への進化が目覚ましく、支部活動のインフラ環境も大きく変化しました。その変化を支部だよりの印刷技術と支部運営システムで追ってみました。現在、高齢化社会を迎え、働く人の「安全と健康」に係る課題も変化しています。「支部だより」は、その時代の取り組みを記録として残す重要な役割があることを歩みをまとめて改めて感じました。300号に向け「今を伝える広報誌」として継続していこうと思います。(事務局長 鎌田)

神奈川労務安全衛生大会参加報告

令和6年度神奈川労務安全衛生大会が、適正な労働条件の確保、労働災害の防止、健康保持増進等による労働福祉の向上と産業の健全な発展をはかる決意の場として、令和6年11月27日（水）、崎陽軒本店（横浜）で開催されました。式典では、会長、来賓の挨拶及び祝辞に続いて、表彰式が執り行われ、最後に大会宣言にて決意表明を行いました。



特別講演「コンプライアンス～知っておくべき法律の基礎知識～」

宮古島リヒト法律事務所 弁護士 菅野朋子氏

コンプライアンスとは、狭義には「法令順守」、今日では、企業倫理、良識も順守することを意とします。さらには不祥事が起こった際、対応を誠実にすることや、そもそも不祥事を意識してそれを予防していくというリスクヘッジもあります。最近のコンプライアンスとしては、経済法関連（独禁法、下請法）、情報漏洩、労働関連があり日常の業務レベルで生じやすい問題であることが分かりました。

情報漏洩の具体例としては、人為的ミス、外部からの意図的な攻撃、内部者からの意図的な攻撃があり、その対策の一例として、出来るだけプリントアウトしない、パソコンを携行する場合はパスワードをかける、不要なサイトにアクセスしない、心当たりのないメールは開かない等があり、万が一、漏洩した場合は、法的、事実的リスクがあり、懲戒処分、損害賠償を負うことになるなど注意が必要です。

セクハラ、パワハラへの対応策としては事実関係をできる限り明確に中立的な調査を行い、被害者のプライバシーの配慮を行うことが重要であり、行為者の弁明の機会を設けるなど適正な手続きをとり、就業規則に基づき適切に懲戒処分を行わなければならないことが分かりました。（広報部会）

***** 労務安全衛生功労賞 *****

令和6年度労務安全衛生功労賞39名の受賞者の紹介がありました。小田原支部からも3名が受賞いたしました。あらためましてお祝い申し上げます。



日本インジェクタ㈱
府川 和弘 様



紀伊産業㈱鴨宮工場
松崎 勝彦 様



日本新薬㈱
小田原総合製剤工場
堂前 篤史 様



新規加入会員事業場紹介

- ☆事業場名 万葉倶楽部株式会社
- ☆所在地 〒250-0011神奈川県小田原市栄町1-14-48
ジャンボナックビル8F
- ☆代表者名 代表取締役社長 高橋 理
- ☆設立 1997年2月3日
- ☆従業員数 195名（小田原支部内の事業所合計）
- ☆事業内容
 - ・温浴施設、ホテル、旅館の運営
 - ・レストラン、飲食店の経営
 - ・不動産の売買、賃貸、仲介、管理、マンション管理



㊦ 新年 安全衛生祈願 ㊧

毎年恒例となっております（公社）神奈川労務安全衛生協会小田原支部主催による「安全衛生祈願」が、1月9日（木）に会員事業場の皆様の今年1年の安全や繁栄を祈念し、報徳二宮神社にて執り行われました。（広報部会）



安全祈願

安全衛生祈願 Youtube URL
<https://youtu.be/qLqLc3FMghM>



経営者セミナー

経営者セミナー Youtube URL
<https://youtu.be/Lspbg46-dps>



安全衛生祈願と同日開催されました小田原産業労働団体連合会主催による経営者セミナーが開催されました。冒頭、陸運労働災害防止協会 香川小田原分会長の開会あいさつから始まり、小田原産業労働団体連合会 小池会長、小田原労働基準監督署 本間署長、公益社団法人神奈川労務安全衛生協会 法元常務理事より、ご挨拶を賜りました。



小池会長

◆◆◆ 特別講演 ◆◆◆

演 題：グレートジャーニー～地球を這って感じたこと、考えたこと～
講演者：関野吉晴氏



関野 吉晴氏

関野さんは、自分の腕力と脚力だけを頼りにグレートジャーニーをスタートし、ヒマラヤの峠越え、シルクロードを自転車で移動、ヨルダンの死海、スエズ運河を超えてアフリカ大陸へと旅を続けてきたとの事です。行く先々で様々な人々と出会い、触れ合いながら人類のルーツを訪ねる旅を続けてきました。探究心旺盛な講演に引き込まれると共に、強い意志と想いを感じ取り、楽しそうに私たちに伝えていただき、旅の充実さを深く感じることができました。

関野さんの講演終了後、建設業労働災害防止協会 勝俣分会長より閉会の挨拶を賜り、講演は成功裏に収められました。（広報部会）



セミナー風景

 **事務局だより**

事務局長 鎌田 光郎

新年明けましておめでとうございます。200号を記念して表・裏ページをカラーページとしました。表紙は、広報部会で集めた以下の候補写真から、新年にふさわしい「日の出の写真」が選ばれました。



本年も行政情報からイベントニュースまで、幅広くお伝えします。また、新たにQRコードを活用し誌面枠を超えて関連情報をお伝えします。ご期待ください。2月～3月企画講習会は右のQRコードで確認することができます。



散 歩 道

最近ずいぶん体が硬くなってきた。けが予防のためにも柔軟性を保つことは重要だ。

思い返しても最近の運動という運動は始業前のラジオ体操ぐらいだ。両肩の可動範囲もだいぶ狭まっている。

このままではいけない、と新年を迎え心機一転、睡眠前に10分間のストレッチを実行。ついでに筋力アップのためのメニューも計画する。欲張りすぎか？

健康診断結果が戻ってきたとき、安全衛生担当者と

して、「定期健診の結果を活かして生活習慣を見直し、健康の維持に努めましょう。」と発している自身の言葉が身に染みる。

今年こそ転倒防止、転んでもケガをしない体を手に入れるために継続していこうと固く心に誓っている。

(広報部会 米山 英男)

皆さん！転倒防止のアクティブ体操、やってみませんか！



Part I



Part II

厚生労働省推奨 アクティブ体操Part I アクティブ体操Part II

従業員数50人未満の事業者と労働者の皆さま

地域の産業医による健康相談・保健指導は無料健康相談窓口をご利用ください。

労働者が心身ともに健康で働き続けられるように、長時間労働の面接指導、メンタルヘルス不調者の相談や生活習慣病予防など、事業場が行う労働衛生管理を支援するために、「県西地域産業保健センター」では、地域の産業医による面接指導や健康診断の事後措置などの無料健康相談・保健指導を行っています。

1. 無料健康相談窓口ご利用時間（原則、1週間前までにご連絡下さい。）
午後1時00分～ 予約制
2. 相談日（令和7年1月から令和7年3月までの相談日は次のとおりです。）
1月7日(火) 1月16日(木) 1月23日(木) 1月30日(木) 2月7日(金) 2月14日(金)
2月21日(金) 2月28日(金) 3月5日(水) 3月13日(木)

3. 相談窓口会場
〔おだわら総合医療福祉会館内 小田原市久野 115 - 2 県西地域産業保健センター4F 事務所〕

無料健康相談窓口の他、ご依頼内容により産業医による産業保健指導を小田原市、南足柄市、足柄上郡、足柄下郡の各事業場への個別訪問を行っていますので、ご相談ください。

4. 利用申し込み（ホームページ又は電話）
 - 1) ホームページから利用申込出来ます。 <https://www.kanagawas.johas.go.jp/publics/index/545/> WEB、あるいはFAXで利用申込書をお送りください。
ホームページは“神奈川県保県西”で検索。
 - 2) 電話 0465-66-6040（受付時間：9時～14時）
厚生労働省「産業保健活動総合支援事業」 協力：小田原医師会・足柄上医師会

県西地域産業保健センター